

<農業生産条件の強化（自己施工）に取り組む事例>

○用水路の大規模化

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	北海道磯谷郡蘭越町 貝川			
協定面積 26.6 ha	田 (100%)	畑	草地	採草放牧地
	水稻、エン麦等			
交付金額 559万円	個人配分	52 %		
	共同取組活動 (50%)	<ul style="list-style-type: none"> ・集落の各担当者の活動に対する経費 3 % ・農業生産活動等に対する経費 7 % ・農業生産活動等の体制整備に対する経費 37 % ・その他（事務費等） 3 % 		
協定参加者	農業者 10 人			開始：平成12年度

2. 取組に至る経緯

- ・機械購入費・維持管理費の負担増、集落内農業者の高齢化による労働力不足
 - ・排水不良による作物への悪影響、老朽化した暗渠排水管
- 以上の課題を解消するため、協定の締結を進めた。

3. 取組の内容

排水不良による作物への悪影響を考慮し、暗渠排水施工及び用水路の整備を重要取組項目とした。

また、機械購入費・維持管理費の負担増及び集落内農業者の高齢化による労働力不足を解消するため、共同機械購入及び農作業の共同化を推進する。



【用水路掘削作業】



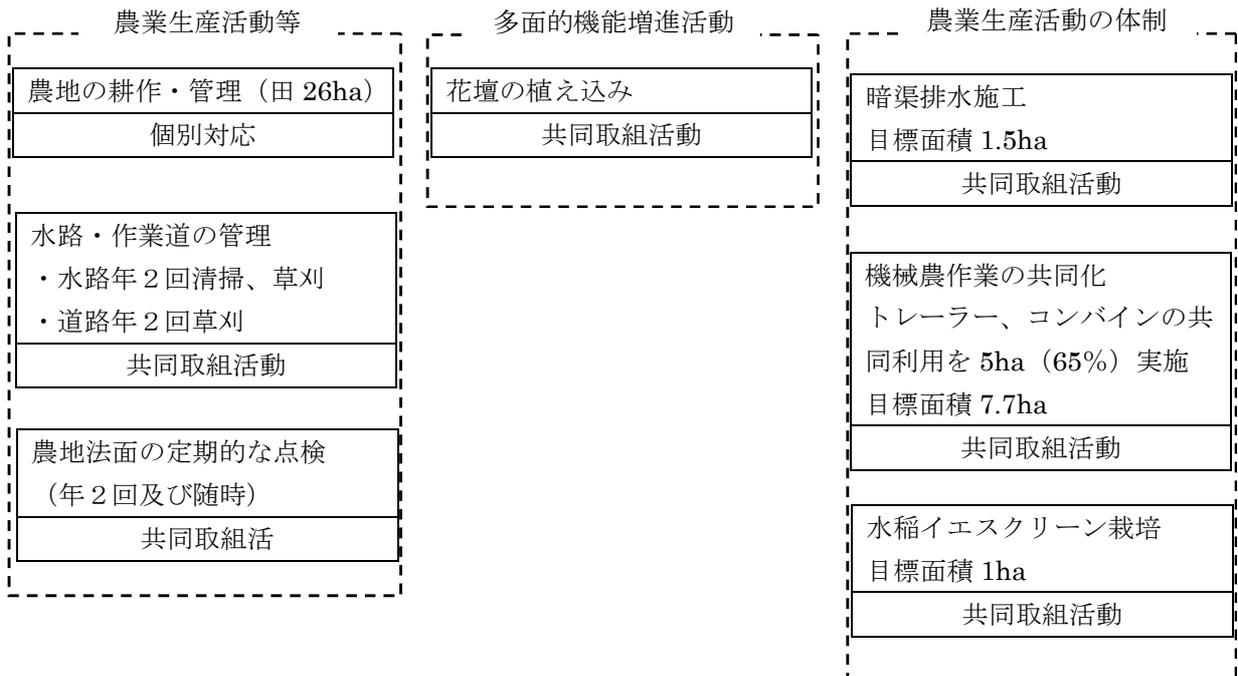
【用水路砂利敷き作業】

[集落の将来像]

- 集落ぐるみの農業生産活動等体制整備
- 地域の実情に即した持続的な農業生産活動等の体制整備

[将来像を実現するための活動目標]

- 排水不良ほ場の新たな暗渠排水施工による農業生産条件の強化
- 共同機械購入・利用による経費削減
- イエスクリーン米（※）の栽培による高付加価値型農業の実践



※イエスクリーン米とは、道立農業試験場等により開発・改良された「クリーン農業技術」を導入し、技術導入前に比べて農薬や化学肥料の投入量を削減して生産された、よりクリーンな米のこと。

4. 今後の課題等

引き続き計画的な用水路の整備を進め、また機械の共同利用取組面積を拡大する。
（用水路の整備目標 500m 増、機械の共同利用取組目標面積 7.7ha）

[第2期対策の主な成果]

- ・用水路大規模整備の実施（総延長1,050m）